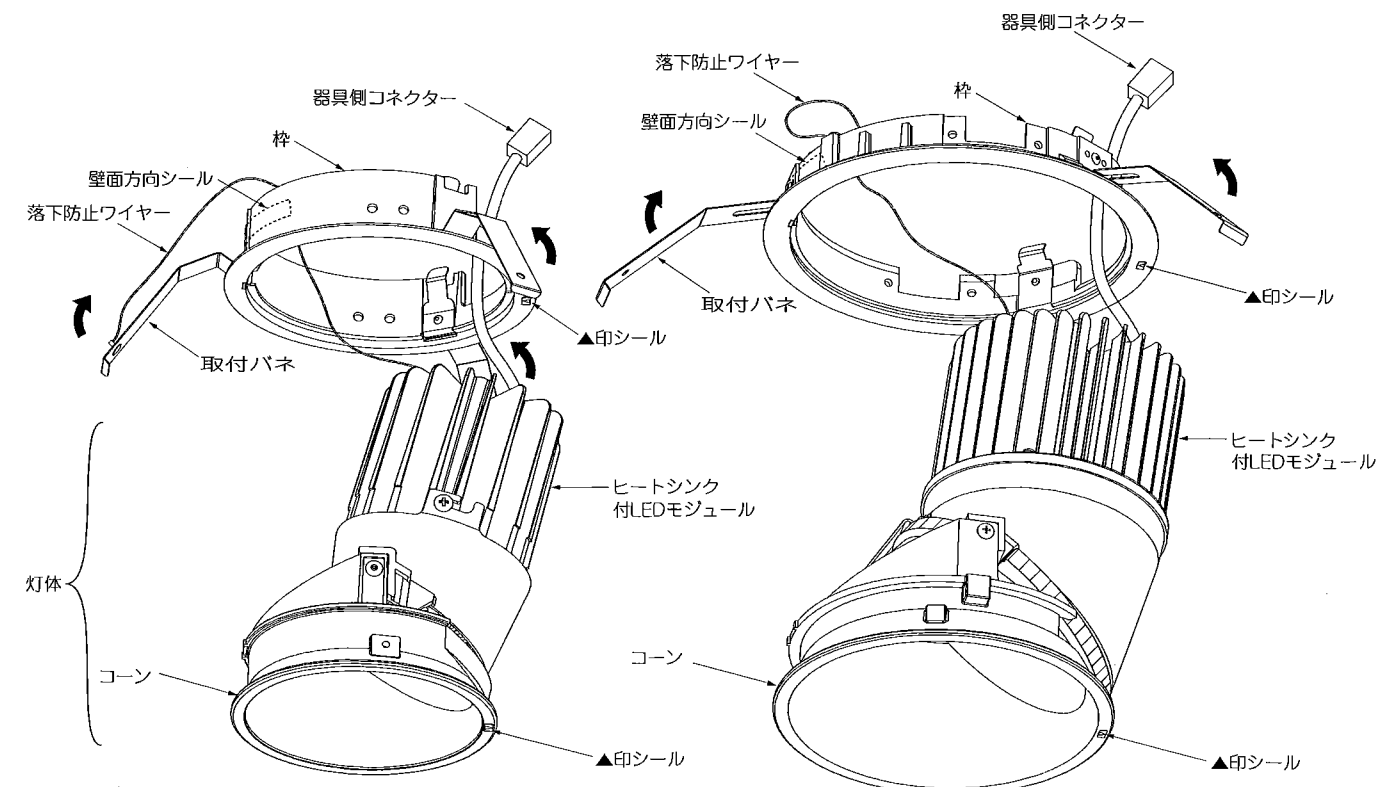
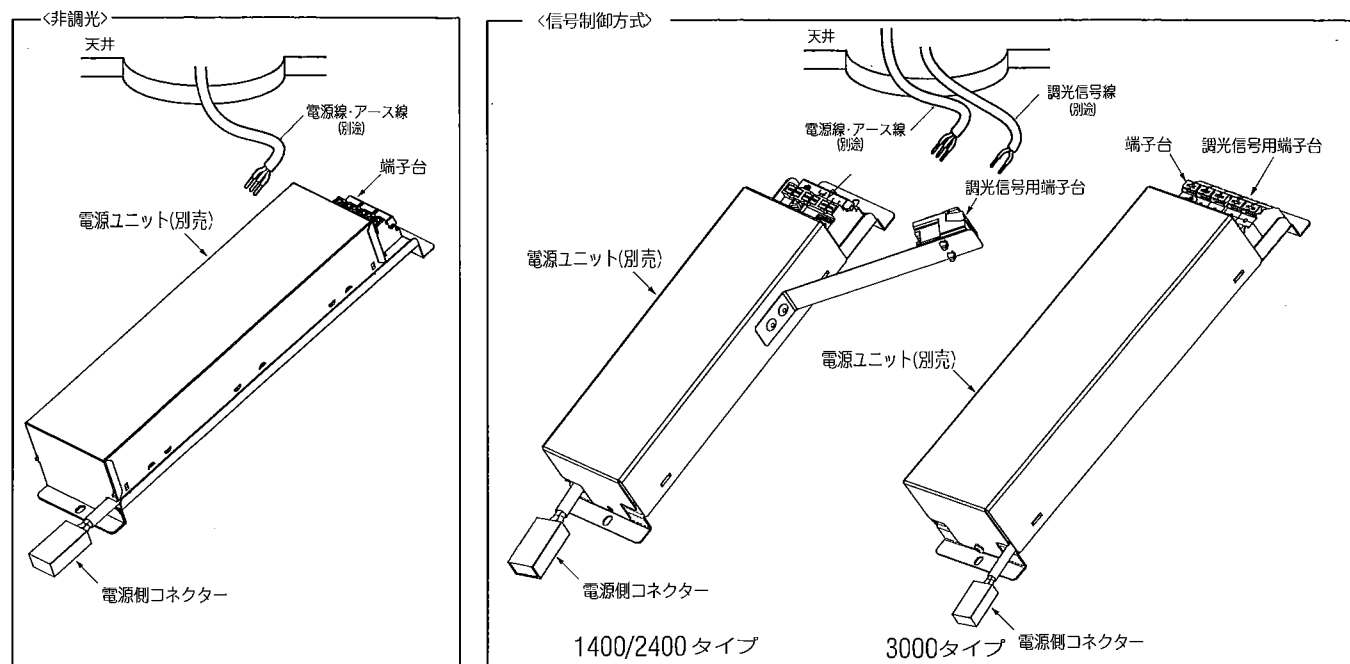


[型番] ERD5364W, ERD5365W, ERD5366W, ERD5367W, ERD5366B, ERD5367B, ERD5404W, ERD5405W, ERD5406W, ERD5407W, ERD5408W, ERD5409W

◆各部の名称 この図は一部省略抽象した共通部品図です



■清掃方法について **△注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。**

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたらないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光	近接照射限度	定格電圧	周波数	区分	入力電圧	入力電流	消費電力
900/1400 タイプ	ERD5364W	ナチュラルホワイトタイプ(4000K)	ウォール ウォッシャー	0.3m	AC100-242V	50Hz/60Hz	900 タイプ	100V	240mA	14.2W
	ERD5365W	温白色(3500K)						100V	211mA	20.8W
	ERD5366W	電球色タイプ(3000K)					1400 タイプ	200V	108mA	20.9W
	ERD5367W	Hi-CRI ナチュラル(2800K)						242V	93mA	21.3W
	ERD5366B	電球色タイプ(3000K)								
2400 タイプ	ERD5407W	ナチュラルホワイトタイプ(4000K)	ウォール ウォッシャー	0.3m	AC100-242V	50Hz/60Hz	2400 タイプ	100V	287mA	28.0W
	ERD5408W	温白色(3500K)						200V	146mA	27.6W
	ERD5409W	電球色タイプ(3000K)						242V	124mA	27.8W
3000 タイプ	ERD5404W	ナチュラルホワイトタイプ(4000K)	ウォール ウォッシャー	0.5m	AC100-242V	50Hz/60Hz	3000 タイプ	100V	369mA	36.2W
	ERD5405W	温白色(3500K)						200V	186mA	35.6W
	ERD5406W	電球色タイプ(3000K)						242V	157mA	35.7W

※専用電源を必ず使用してください。

△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆LED光源について

LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

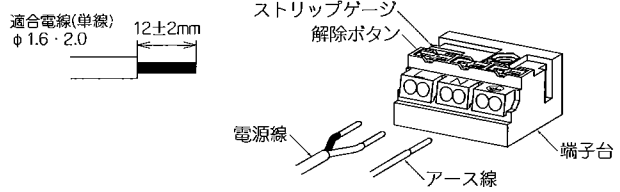
◆取付方法

- 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。
△ 感電の原因となります。
- この器具は天井取付専用器具です。器具重量に十分耐えるよう、天井取付部の強度を確保し、指定の埋込穴をあけてください。(取付有効板厚3mm~25mm)

型番	埋込穴寸法
ERD5364W ERD5365W ERD5366W ERD5367W ERD5366B ERD5367B	φ100±1
ERD5407W ERD5408W ERD5409W	φ125±1
ERD5404W ERD5405W ERD5406W	φ150±1

△ 取付部の強度が不十分な場合、上記埋込穴寸法より大きい場合は、器具落下・光モレの原因となります。

- 電源線を端子台に接続してください。
 - 電線はストリップゲージ長12±2mmにむいてください。
 - 電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
 - 送り容量15A以下。
 - D種接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。

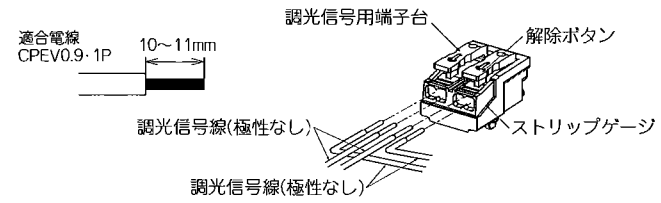


△ 電源線は解除ボタンを押さずに引き抜かないでください。接点金具が変形し、焼損、漏電、感電、不点灯の原因となります。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

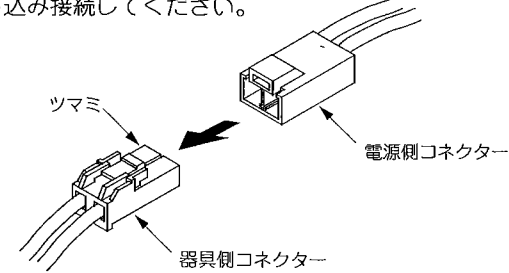
- 3-1. 信号制御方式の場合、調光信号線を電源ユニットの調光信号用端子台に接続してください。
- 調光信号線はストリップゲージ長10~11mmにむいてください。
 - 解除ボタンを押したまま、調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。解除ボタンを元の位置に戻し、調光信号線が抜けないことを確認してください。
 - 使用する信号制御器の最大接続数以下で接続してください。



- 信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
- 信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

4. 器具側コネクタに電源側コネクタを確実に差し込み接続してください。

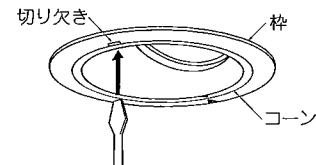


⚠ 接続不完全な場合、火災・漏電の原因となります。

5. 電源ユニットを埋込穴より挿入し、天井内で横転などしないように設置してください。

⚠ 電源ユニットが器具に触れないように設置してください。火災・故障の原因になります。

6. 本体を埋込穴に押し込んでください。
- 枠の切り欠きにマイナスドライバーなどを差し込み、灯体を枠から引き抜いてください。



- 取付バネ(3ヶ所)を矢印方向へ締め、本体を埋込穴へ押し込んでください。(各部の名称図参照)

⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。